

かほく

# ワークシート

## 土のう作る

若林・七郷

仙台市若林区の七郷中学区で29日、地域一体で行う合同防災訓練が行われた。七郷小、七郷中の児童や生徒、地域住民

土のう作りをする七郷中の生徒ら。仙台市若林区の荒井号公園



ら約3000人が参加し、災害時避難経路などを再確認した。

午前8時に地震が起きたと想定。住民らは学校や自宅から、避難所に指定されている両校に集合した。避難後には地区集会も開催し、児童や生徒が学校で学んできた防災知識などを発表した。七郷中の生徒らは建物への浸水を防ぐ土のう作りなども体験し、災害時に備えた。

同学区での防災訓練は今年で5回目。東日本大震災後、新住民が増えたことを受け、地域内で顔が見える関係づくりをしていこうと、七郷地区町内会連合会が主体となって活動を始めた。同会の堀江達郎副会長(75)は「災害時は地域内の連携が不可欠。これからも継続していきたい」と語った。

災害時は、人と人をつなぐことが命を守ることに繋がります。地域には、さまざまな世代の人々が暮らしています。顔の見える関係づくりを通して、それぞ

出題者から

れの世代が自らの防災の力を可能な限り高め、維持していくことが大切です。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市高砂小校長 中辻正樹)

### 問題

- ①合同防災訓練には、およそ何人が参加しましたか？
- ②避難後の地区集会では児童・生徒はどのようなことを行いましたか？  
・児童・生徒は「(1)」などを発表した。  
(1)「  
・七郷中の生徒は「(2)」を体験し、災害時に備えた。  
(2)「
- ③七郷地区町内会連合会副会長の堀江さんは、どのような思いを持っているのでしょうか？
- ④あなたの地域では、防災への備えとして、どのような活動をしていますか？

(小学校中学年～／総合的な学習の時間等)

10月14日付「かほくワークシート」の模範解答

① 合同防災訓練には、およそ何人が参加しましたか？

およそ 3000 人

② 避難後の地区集会では児童・生徒はどのようなことを行いましたか？

・児童・生徒は「（１）」などを発表した。

（１）「 学校で学んできた防災知識 」

・七郷中の生徒は「（２）」を体験し、災害時に備えた。

（２）「 建物への浸水を防ぐ土のう作り 」

③七郷地区町内会連合会副会長の堀江さんは、どのような思いを持っているのでしょうか？

災害時は地域内の連携が不可欠、これからも継続していきたい。